

協進レター72号

平成 23 年 12 月 26 日

2011 年（平成 23 年）卯年も、いろいろなことがありました。

今年は、加藤茶さんを筆頭に「年の差婚」が話題になり、ウイリアム王子とキャサリン妃のご結婚がありました。

아이폰・アイパッドをはじめとするタブレットがよく売れ、様々なアプリで老若男女が楽しく生活を変化させています。

K ポップ AKB が流行り、上野動物園に「力力」と「真真」がやって来ました。名古屋ではリニア鉄道館が人を集め、九州新幹線の CM 動画サイトが爆発的人気を博しています。

芦田愛菜ちゃんと鈴木福君が日本中から「カワイイ！」と喜ばれ、日本食や日本アニメ、日本のファッションが世界中で流行り、奥州平泉と小笠原が世界自然遺産の指定を受け、日本の自然と、伝統的文化から現代文化までの素晴らしさを、世界に誇っています。

大相撲春場所は、度重なる不祥事で中止となりましたが、タイガーマスクが活躍してくれたのもこの春でした。

日本中が未曾有の震災で打ち拉がれている時に、「なでしこジャパン」世界のニュースが飛び込んできました。男子もアジアカップで優勝し、柏レイソルがクラブカップ世界第四位にもなりました。

スカイツリーは 634 メートルに達し、世界一の高さを誇る構築物となり、日本の物創りの水準の高さを、世界に発信することができました。

隣の船橋市出身の野田総理が誕生し、島田伸助が引退した年でもあります。

とても水害の多い年で、紀伊半島・新潟・福島は、夏に大変な水害に遭っています。計画していた、尾瀬ハイクを断念しました。

福島といえば、東日本大震災も、揺れ自体よりも、津波による被害の方がより大きかったと言えます。こうした災害の中でも、誇れる日本人の気質みたいなものが、世界に向けてネット情報や報道で再認識させることができた年でもあります。『絆』がクローズアップされました。

テレビの地デジ化が終了し、生肉食中毒、放射能騒動、円高・ドル安・株安・ユーロ圏の経済不安・世界不況、そして金正日さんの訃報という一年でした。

この一年間ありがとうございました。社員とその家族、お取引関係にある皆様、協進交通を愛し親しんで下さるお客様全てに感謝申し上げます。

振り返るとこんないろいろな事があったんですね。書き出してみると、マイナスイメージな事象の裏目に、必ずプラスイメージな事象があります。

もちろん社内にも、各位家族親戚友人関係にもいろいろあったはずです。諸々全部含めて、終わった事全てに感謝し、今こうしてお陰様をもって、生かされていることを喜びたいと思います。今一度、本当にありがとうございました。

さて、恒例の年頭に掲げた社長 10ヶ条の誓いを総括させていただきます。

①「どんな時でも、誰にでも、明るく元気に爽やかに、語先後礼の挨拶をします」ですが、対外的には完璧だと自負しています。対内的には、テレがあったり、感情が先に出てしまったりで「どんな時でも、誰にでも」は、まだまだです。

②「対面で人と接する時は、笑顔で接する

ことを心がけます」は、同じく対外的にはかなりな水準でできていると思います。俗に言う、「外面が善い」というやつです。一方、対内的には自分でも嫌になるくらい気分屋です。もう少し「大人にならないと」と、自戒します。

③「丁寧で前向きの言葉使いに注意を払います」ですが、『自分が何をしゃべりたいか』ではなく、『いかに伝わっているか』ということ意識するようにしていますが、難しいです。翻意をなかなか伝えきれません。

自身の躁鬱気質は、時として人を傷つけていることがある（特に身内に対して）と承知しています。もっともっと努力させてもらいます。

④「正しい姿勢を意識します」は、マイナス成長です。こうしてデスクに向かっていると猫背になってくるし、歩いていてもいつもうつむいて歩いています。ハンドル握ると前かがみになるし、立っていると寄り掛かっていたりどちらかに体重が偏っています。筋力を戻して、正しい姿勢を保つ努力が必要です。

⑤「都度、整理整頓」については、几帳面なくらいできていると思います。ただ、必要な物・事、不要な物・事の判断が適切でない時があり、捨ててしまってから「あれ、どうしたっけ」とか、結果として必要でない物をいつまでもそのままに放置してあったりすることが、時々気になります。

⑥「何をすべきか、発心、決心。決心したらやり遂げるまでやり続ける」は、これからも永遠のテーマです。どうしても迷いが生じます。迷うからやり遂げるまでやり続ける事が甘くなります。

先日、MK タクシーの青木社長の話を聞く機会がありました。外から見ると「なんでそんなことするの？」と思うことを、決

めてやり続けた結果が今日の MK タクシーを築きあげているのかと感激しました。

⑦「時間を大切に」は、「楽」な方に流れてしまうことがしばしばあると自覚しています。意義がない「楽」は、無駄な時間です。万人が、一分一秒死に向かって時を刻んでいるのですから、況して私などはその時間が少なくなってきましたから、ますますもって時間を大切に有意義に使っていかなければなりません。

⑧「極端に偏らない中庸な気持ち」を持ちたいと願っているのですが、私には仏様みたいに平らかな気持ちには、なかなか出来ません。修行不足です。でも、そうなりたい、そうなるのには、どうすればいいのかを考え続けることは止めません。

⑨「小事に囚われて大事を逃さない」ようには動いているつもりです。しかし、やはり些細な事に怒ったり、くよくよしたり気持ちが乱れてしまい、感情的になる事がよくあります。それを改めることが難しいので、そういう時こそ小事の後の大事を、よくよく思う習慣を持つことにしました。

⑩「会社人・家庭人・社会人としてのバランス感覚を持つ」については、自己評価では花丸だと思っています。しかし、社員の評価、家族の評価、お客様やお取引先の評価がとっても気になります。

以上、自分の物差しで計測すると全体的に 10%アップくらいの成長はあったかと喜んでいますが。一方、一つ一つについてはまだまだの部分もあるので、さらなる努力が必要であると承知し、これからも頑張らせていただきます。

2012 年 (平成 24 年) 辰年を迎えますが、また、どんなに素敵な事が起こるかわかりません。変わらぬお付き合い、ご支援ご鞭撻、ご利用よろしくお願ひいたします。